

地域で活動する公共的ボランティア団体について

団体	活動内容	主管課	市の役割
地域社協 (福祉の会)	<p>住民同士の助け合い活動をする住民組織。いざというとき、困ったときにお互い助け合える住民同士の助け合いネットワークづくりを目指して活動。</p> <p>◆地域福祉活動推進協議会代表者連絡会 13地区の地域社協の代表者の会議</p> <p>◆地域社協(福祉の会) 市内13地区の区域で活動。各地域の状況に合わせた活動を展開しているため、活動の種類や内容は地域社協ごとに異なる。地域や丁目ごとの食事会や交流会、高齢者サロン、子育てサロン、安心助け合いネットワークなど</p>	(社福) 武蔵野市民 社会福祉協議会 (地域支援課)	<p>地域社協の活動を支える市民社会福祉協議会へ補助金を交付し運営を支援。</p> <p>災害時要援護者対策事業は地域社協(福祉の会)が事業の根幹を担っており、市民社会福祉協議会を通じた活動費等の補助のほか、市は情報や意見の交換、物品購入などを行っている。</p>
青少年問題協議会	<p>青少年の健全育成のために様々な活動に取り組む。</p> <p>◆武蔵野市青少年問題協議会 市全体の大きな視点から青少年に関する諸問題を話し合う。市長、市議会議員、警察署長、児童相談所、学校長、PTA代表等で構成)</p> <p>◆地区委員会 市立小学校の12の学区ごとに青少年問題協議会地区委員会を設置。各地区委員会ごとに、むさしのジャンボリー、美化活動、地域パトロール、おまつり、運動会などを実施</p>	児童青少年課	<p>協議会の事務局を児童青少年課に置き、運営を支援。情報提供や意見交換を行っている。</p> <p>青少年の健全育成を図る活動を支える地区委員会へ補助金を交付。</p>
自主防災組織	<p>地震被害等を軽減するため、震災時に地域の防災活動の中核組織として初期消火や救出・救護などの活動に取り組む組織。平成25年12月現在44団体。</p>	防災課	<p>「武蔵野市自主防災組織に関する要綱」に基づき、自主防災組織の支援・育成等を行うとともに、活動に使用する資器材、用品等の提供を行う。</p>
避難所運営組織	<p>災害時、避難所生活する際、共同生活の運営の中心となる組織。地域の自主防災組織や各種地域団体等で結成。平成25年12月現在10団体。</p>	防災課	<p>地域団体や市民防災協会等と連携し、すべての避難所に避難所運営組織が設立されるよう地域への支援を行っている。</p>